

専 門 教 養
令和 4 年 7 月
60分

受 験 教 科 等
高 等 学 校 福 祉

注 意

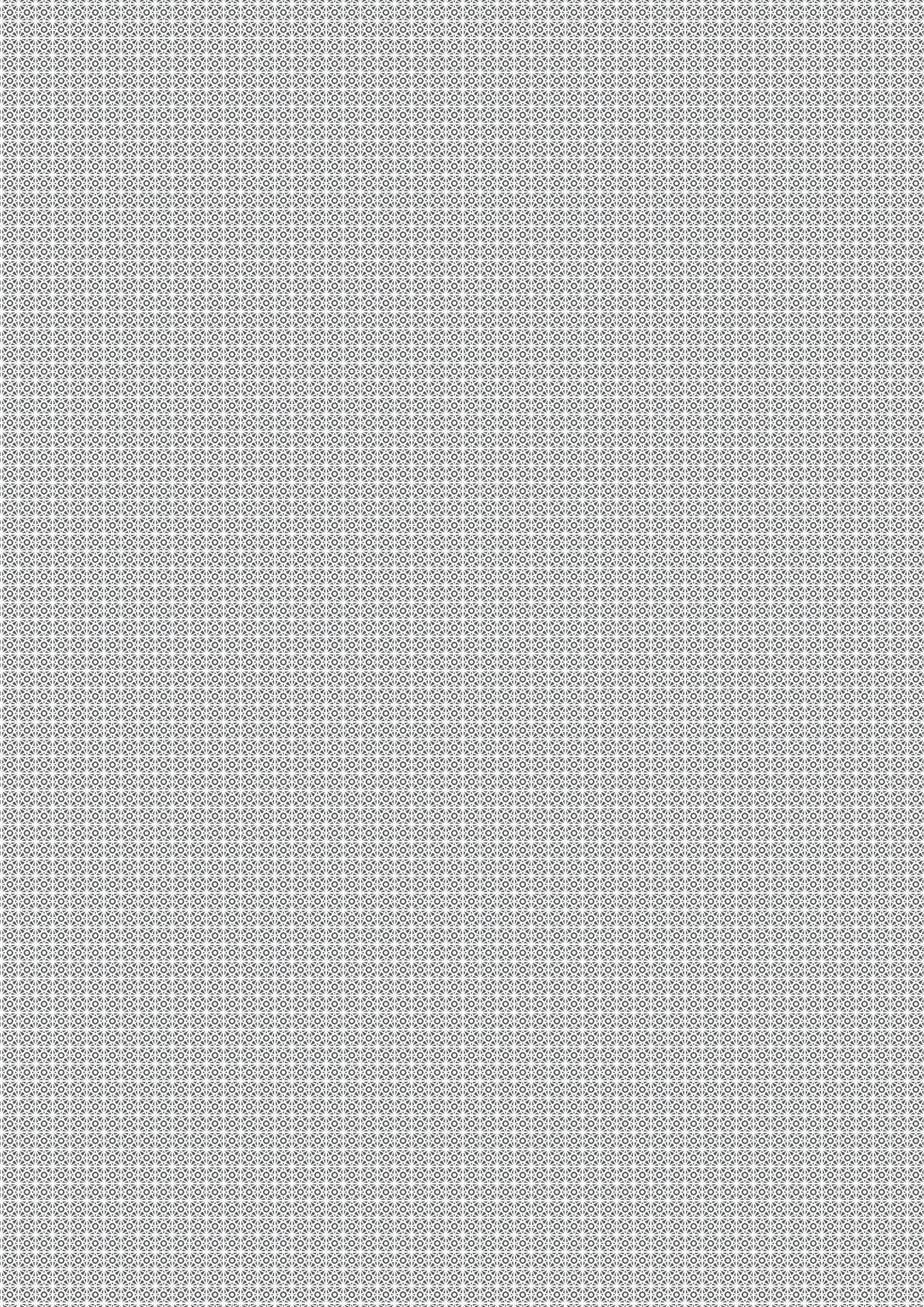
- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン等の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、15ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号**を記入し、**受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名**を記入してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは**不要**です。
- 8 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 10 問題の内容についての質問には一切応じません。

===== 解答上の注意 =====

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は 1。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の（例）のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

（例）

解答 番号	解答欄
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖



1

学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 高等学校学習指導要領福祉の「介護総合演習」の「目標」に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **1**。

- 1 介護に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- 2 自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- 3 地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- 4 介護及び支援の実践に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。

〔問 2〕 高等学校学習指導要領福祉の「福祉情報」の「内容の取扱い」に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **2**。

- 1 「情報社会と福祉サービス」については、具体的な事例を通して、情報社会における生活の変化と福祉サービスにおける情報機器の役割や利用状況について扱うこと。
- 2 「情報モラルとセキュリティ」については、実際に情報機器や情報通信ネットワークを活用できるよう実習を中心として扱うこと。
- 3 「情報機器と情報通信ネットワーク」の「情報機器の仕組みとプログラミング」については、情報機器や情報通信ネットワークを利用した情報の収集、整理、分析、発信について扱うこと。
- 4 「福祉サービスと情報機器の活用」の「情報機器を活用した高齢者・障害者の自立生活支援」については、情報機器の基本的な構成要素とプログラミング及びソフトウェアの役割と特徴について扱うこと。

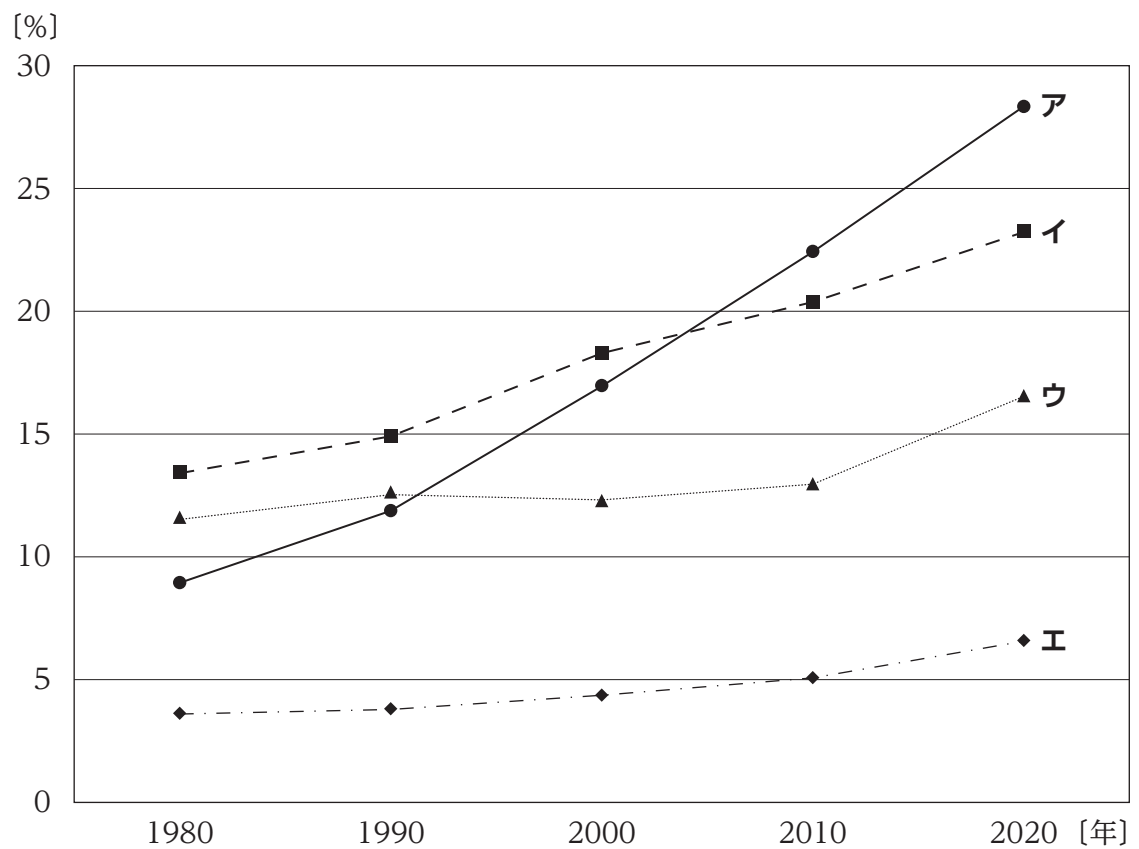
2

社会福祉に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 我が国の社会福祉に関する記述として適切なものは、次の **1**～**4** のうちのどれか。解答番号は **3**。

- 1** 障害者の雇用の促進等に関する法律において、職業リハビリテーションの措置は、必要に応じ、医学的リハビリテーション及び教育的リハビリテーションの措置との適切な連携の下に実施されるものとする規定されている。
- 2** 児童手当法において、「児童」とは、15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者であって、日本国内に住所を有するもの又は留学その他の内閣府令で定める理由により日本国内に住所を有しないものをいうと規定されている。
- 3** 子どもの貧困対策の推進に関する法律において、子どもの貧困対策は、子どもの貧困の背景に様々な社会的な要因があることを踏まえ、推進されなければならないことが基本理念の一つと規定されている。
- 4** 雇用保険法において、失業等給付には、求職者給付、就職促進給付、教育訓練給付及び雇用継続給付が規定されており、そのうち、求職者給付は、基本手当、技能習得手当、寄宿手当、傷病手当、就業促進手当の全5種類とされている。

〔問 2〕 次の図は、各国における年齢別人口の65歳以上の割合の推移を表したものであり、図中
ア～エはそれぞれアメリカ、イタリア、インド、日本のいずれかである。**ア～エ**に当ては
 まる国名の組合せとして適切なものは、下の**1～6**のうちのどれか。解答番号は 4。



(矢野恒太記念会「世界国勢図会 2020/21年版」(令和2年9月)から作成)

	ア	イ	ウ	エ
1	イタリア	アメリカ	日本	インド
2	イタリア	日本	アメリカ	インド
3	イタリア	日本	インド	アメリカ
4	日本	アメリカ	イタリア	インド
5	日本	イタリア	アメリカ	インド
6	日本	イタリア	インド	アメリカ

〔問 3〕 障害者総合支援法の障害福祉サービスに関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 5。

- 1 自立訓練は、障害者につき、障害者支援施設若しくは障害福祉サービス事業所に通わせて当該障害者支援施設若しくは障害福祉サービス事業所において、又は当該障害者の居宅を訪問して、生活等に関する相談及び助言その他の必要な支援を行うものであり、雇用型と非雇用型がある。
- 2 就労移行支援は、通常の事業所に雇用されることが困難な障害者のうち適切な支援により雇用契約等に基づき就業する者につき、生産活動その他の活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援を行うものである。
- 3 就労継続支援は、通常の事業所に雇用されることが可能と見込まれるものにつき、生産活動、職場体験その他の活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、求職活動に関する支援、その適性に応じた職場の開拓、就職後における職場への定着のために必要な相談その他の必要な支援を行うものである。
- 4 自立生活援助は、居宅において単身等で生活する障害者につき、定期的な巡回訪問又は随時通報を受けて行う訪問、相談対応等により、居宅における自立した日常生活を営む上での各般の問題を把握し、必要な情報の提供及び助言並びに相談、関係機関との連絡調整等の自立した日常生活を営むために必要な援助を行うものである。

〔問 4〕 我が国の社会保険に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 6。

- 1 年金は、全国民共通の制度として国民年金があり、民間企業の被用者については、厚生年金が、公務員については共済年金が支給されてきたが、平成25年10月から被用者年金は一元化され、共済年金は厚生年金に統一された。
- 2 医療保険は、企業等に雇用される被用者及びその扶養家族を対象とする被用者保険と、それ以外の地域住民を対象とする国民健康保険の大きく二つに分けることができる。そのほか、原則として75歳以上の高齢者を対象とする後期高齢者医療制度がある。
- 3 労働者災害補償保険は、労働者が失業した場合や、就労するための職業教育訓練を受けた場合に必要な給付を行う。解雇や倒産だけでなく、自己都合で退職した場合であっても、所得保障が行われるため、生活が破綻することを防ぐことができる。
- 4 介護保険では、65歳以上の被保険者を第1号被保険者、40歳以上65歳未満の被保険者を第2号被保険者としている。介護保険料の算出方法は、第1号被保険者と第2号被保険者では異なるが、保険料の徴収の方法は同じである。

3 介護福祉に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 「社会福祉士及び介護福祉士法」における社会福祉士及び介護福祉士の義務等のうち、介護福祉士の義務等に関する記述として適切なものは、次の **1～4** のうちのどれか。解答番号は **7**。

- 1 誠実義務には、「社会福祉及び介護を取り巻く環境の変化による業務の内容の変化に適応するため、相談援助又は介護等に関する知識及び技能の向上に努めなければならない。」とされている。
- 2 信用失墜行為の禁止には、介護福祉士は、介護福祉士の信用を傷つけるような行為をしてはならないとされている。違反した場合には、登録の取り消し、又は期間を定めた介護福祉士の名称の使用の制限がある。
- 3 連携には、「福祉サービス及びこれに関連する保健医療サービスその他のサービスが総合的かつ適切に提供されるよう、地域に即した創意と工夫を行いつつ、福祉サービス関係者等との連携を保たなければならない。」とされている。
- 4 資質向上の責務には、「専門的知識及び技術をもつて、身体上又は精神上の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき心身の状況に応じた介護を行い、並びにその者及びその介護者に対して介護に関する指導を行う。」とされている。

〔問 2〕 介護保険法の地域支援事業に関する記述として適切なものは、次の **1～4** のうちのどれか。解答番号は **8**。

- 1 地域ケア会議推進事業は、被保険者の地域における自立した日常生活の支援及び要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止に係る体制の整備その他のこれらを促進する事業である。
- 2 在宅医療・介護連携推進事業は、医療に関する専門的知識を有する者が、介護サービス事業者、居宅を除く施設における医療を提供する医療機関その他の関係者の連携を推進するものとして厚生労働省令で定める事業である。
- 3 生活支援体制整備事業は、介護支援専門員、保健医療及び福祉に関する専門的知識を有する者、民生委員その他の関係者、関係機関及び関係団体により構成し、地域において自立した日常生活を営むために必要な支援体制に関する検討を行う事業である。
- 4 認知症総合支援事業は、保健医療及び福祉に関する専門的知識を有する者による認知症の早期における症状の悪化の防止のための支援その他の認知症である又はその疑いのある被保険者に対する総合的な支援を行う事業である。

〔問 3〕 ICFの構成要素に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 9。

- 1 「心身機能・身体構造」の心身機能とは、心理的機能を含む身体系の生理的機能であり、身体構造とは、器官・肢体とその構成部分などの、身体の解剖学的部分である。
- 2 「活動」とは、課題や行為の個人による遂行のことであり、「参加」とは、個人が何らかの生活・人生場面に関わるときに経験する難しさのことである。
- 3 「環境因子」とは、個人の内部にあり、人々が生活し、人生を送っている物的な環境や社会的環境、人々の社会的な態度による環境を構成する因子のことである。
- 4 「個人因子」とは、個人の人生や生活の特別な背景であり、健康状態は含まれるが、健康状況以外のその人の特徴などは含まれない。

〔問 4〕 日本介護福祉士会倫理綱領に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 10。

- 1 「利用者本位、自立支援」には、「介護福祉士は、暮らしを支える視点から利用者の真のニーズを受けとめ、それを代弁していくことも重要な役割であると確認したうえで、考え、行動します。」とされている。
- 2 「専門的サービスの提供」には、「介護福祉士は、地域において生じる介護問題を解決していくために、専門職として常に積極的な態度で住民と接し、介護問題に対する深い理解が得られるよう努めるとともに、その介護力の強化に協力していきます。」とされている。
- 3 「総合的サービスの提供と積極的な連携、協力」には、「介護福祉士は、介護福祉サービスの質的向上に努め、自己の実施した介護福祉サービスについては、常に専門職としての責任を負います。」とされている。
- 4 「後継者の育成」には、「介護福祉士は、すべての人々が将来にわたり安心して質の高い介護を受ける権利を享受できるよう、介護福祉士に関する教育水準の向上と後継者の育成に力を注ぎます。」とされている。

4

障害や疾病に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 内部障害に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は

11

- 1 人工膀胱は、尿管・膀胱・尿道などの病気のために、使えなくなった尿管や膀胱の機能を代替するものである。排泄物により皮膚のトラブルを起こしやすく丁寧な管理が必要であり、ストーマ装具の交換は、医行為に当たる場合でも、専門的な研修を受けることで、介護福祉職が行うことができる。
- 2 人工肛門は、腸の病気や腸の近くにある器官の病気のために、腸を腹部に固定する手術をして、取り付けたものである。自分の意思で排泄のタイミングをコントロールすることができるため、ストーマ袋に貯まった排泄物の処理はできる限り本人が定期的に行う。
- 3 持続可動式腹膜透析は、腎不全の患者に対し、持続的に腹腔に透析液を入れておき血液中の毒素や余分な水分を移行させる治療法である。腹膜カテーテルを挿入する必要がないことや、月に 1～2 回程度の通院で済むことが、社会参加において大きなメリットとなる。
- 4 植込み型ペースメーカーは、徐脈性不整脈のある心臓に対して電気刺激を与え鼓動を促す装置である。携帯電話端末の電磁波の影響を受ける可能性があることから、総務省は平成25年に「携帯電話端末を植込み型医療機器の装着部位から15cm程度以上離すこと」とした。

〔問 2〕 脳血管障害に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は

12

- 1 脳梗塞には、動脈硬化により脳の太い血管に血栓が詰まるラクナ梗塞と、脳の細い血管が詰まるアテローム血栓性脳梗塞がある。
- 2 くも膜下出血は、脳動脈瘤等が破裂することなどにより出血した状態をいう。昼間、活動時に発症することが多く、突然の激しい頭痛が特徴で、嘔気、嘔吐を伴う。
- 3 脳血管障害による代表的な後遺症には、まひや言語障害、空間認識障害、高次脳機能障害などがあり、左脳障害の場合、空間認識障害が見られるのが一般的である。
- 4 脳塞栓症は、脳動脈内で生じた血栓により、脳組織の一部が壊死に陥った状態をいう。ある日突然、片まひや言語障害が現れて気付かれることが多い。

〔問 3〕 高齢者に見られる疾病に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。

解答番号は 13。

- 1 高血圧は、外来随時血圧の拡張期血圧が140mmHg以上で、収縮期血圧が90mmHg以上と、WHOのガイドラインで定義されている。老人性高血圧は、拡張期血圧は高いが、収縮期血圧は低いといった拡張期高血圧が多い。
- 2 糖尿病には、1型糖尿病と2型糖尿病がある。食事や運動などの生活習慣が関係する2型糖尿病は、インスリン非依存型糖尿病とも呼ばれ、中年以降に発症することが多く、膵臓でのインスリン生産能力は保持されなくなる。
- 3 加齢性黄斑変性症は、網膜の中心部である黄斑が変性することで起こる疾患である。主な症状は、中心暗転、視力低下、変視症などである。
- 4 褥瘡は、長時間の圧迫による血液循環の低下によって皮膚が壊死した状態のことをいう。褥瘡を予防するためには、臥位では5時間ごとの体位変換や褥瘡予防マットによる加圧、十分な栄養や水分の補給が必要である。

〔問 4〕 次の記述は、認知症を発症したAさんの様子に関するものである。記述中の空欄

ア ～ ウ に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、下の 1～8 のうちのどれか。解答番号は 14。

α シヌクレインというたんぱく質が神経細胞の中に異常蓄積し、認知症を発症した。椅子にかかっている背広が人に見えるなどの錯視や幻視が特徴的な ア 認知症である。

眠りが浅い睡眠中に夢を見て「逃げろー！」と声を出し、手足をばたつかせたり、暴れたりするといった イ 睡眠行動障害が見られる。また、「自分の身近な人間がそっくりの他人にすり替えられてしまった」と強く確信する ウ 症候群が見られる。

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1 | ア 前頭側頭型 | イ ノンレム | ウ カブグラ |
| 2 | ア 前頭側頭型 | イ ノンレム | ウ シェーグレン |
| 3 | ア 前頭側頭型 | イ レム | ウ カブグラ |
| 4 | ア 前頭側頭型 | イ レム | ウ シェーグレン |
| 5 | ア レビー小体型 | イ ノンレム | ウ カブグラ |
| 6 | ア レビー小体型 | イ ノンレム | ウ シェーグレン |
| 7 | ア レビー小体型 | イ レム | ウ カブグラ |
| 8 | ア レビー小体型 | イ レム | ウ シェーグレン |

〔問 5〕 次の記述は、ある難病に関するものである。この難病の名称として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 15 。

原因は不明であるが、脊髄前角の運動神経細胞が変性脱落していく進行性の疾患である。症状は、進行により全身の筋力低下、言語障害、嚥下障害、歩行障害が見られ、寝たきりの状態になる。しかし、感覚障害、意識障害は起こりにくく、視力、聴力などは、正常に保たれることが多い。

- 1 多発性硬化症
- 2 筋萎縮性側索硬化症
- 3 パーキンソン病
- 4 脊髄小脳変性症

5

介護技術に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 生活支援に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は

16

- 1 ADLは、生活者の満足感、安定感、幸福感を規定している諸要因の質のことであり、延命治療が優先されてきたが、どのような健康状態や障害にあっても医療や福祉サービスを受ける人々こそが主体との反省から生まれた概念である。
- 2 QOLは、人が毎日の生活を送るために必要な基本的な生活動作のことであり、具体的には、食事、排せつ、整容、更衣、入浴などの身の回り動作、移動動作、家事や整理整頓、洗濯などの生活関連動作がある。
- 3 ユニバーサルデザインは、日常生活で使用する様々な道具や装置、サービスなどを、利用者の国籍、性別、年齢、身体の障害の有無などによらず、誰でも簡単に使いやすいように工夫されたデザインのことである。
- 4 ノーマライゼーションは、障害のある人が社会生活をしていく上で障壁となるものを除去するという意味で、障害のある人や高齢者のために、道路や建物内の段差をなくして移動しやすくすることである。

〔問 2〕 対人援助に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は

17

- 1 加齢性難聴のある人は、ほとんどが感音性難聴であることから、高い声が聞き取りやすいため、コミュニケーションをとるときは、できる限り明るくハキハキした高い声で話しかけることが大切である。
- 2 高次脳機能障害により、左半側空間無視のある人とコミュニケーションをとるときは、要介護者の右側に立って話しかけることが基本である。また、家具やテレビは位置の工夫を行い、安全に生活できる環境を整えることが大切である。
- 3 視覚障害のある人で点字が使用できない人とコミュニケーションをとるときは、メンタルマップという印刷物上の二次元バーコードを積極的に活用し、情報のやりとりを行うことが大切である。
- 4 ブローカー失語症のある人は、流暢で多弁であっても、相手の言っていることを理解することができないので、コミュニケーションをとるときは、重度の場合であっても指さしやジェスチャーを用いることが有用である。

〔問 3〕「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」（厚生労働省平成30年）に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 18 。

- 1 認知症の人を支える周りの人において行われる意思決定支援の基本的考え方や姿勢、方法、配慮すべき事柄等を整理し、代理代行決定のルールを示したものである。
- 2 認知症と診断された人を支援するガイドラインであり、認知機能の低下が疑われ、意思決定能力が不十分な人であっても認知症と診断されていない場合は対象とならない。
- 3 意思決定支援プロセスにおいて、同居しているかどうかを問わず、本人の意思決定を支援する上で、本人をよく知る家族は本人を理解するために欠かすことはできない。
- 4 本人の示した意思は、時間の経過や本人が置かれた状況等によって変わり得るが、最初に示された意思を尊重して対応することが必要である。

〔問 4〕経管栄養に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 19 。

- 1 経管栄養は、口から食事を摂れない、あるいは摂取が不十分な人の消化管内にチューブを挿入して、栄養剤を注入し、栄養状態の維持・改善を図る方法である。
- 2 経鼻経管栄養は、嚥下障害や変形拘縮が強く、胃食道逆流現象があり、誤嚥性肺炎が繰り返し起こる場合に用いられる。
- 3 胃ろう経管栄養は、胃食道逆流現象が重度で、嚥下障害があり、誤嚥性肺炎が繰り返し起こる場合、胃の噴門形成術を行っても胃食道逆流現象が重度な場合に用いられる。
- 4 腸ろう経管栄養は、消化管の消化、吸収能力は保たれているが、経口摂取が困難であったり、食欲不振や術後のために経口摂取を嫌がったりする場合に用いられる。

〔問 5〕 高齢者の入浴に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 20。

- 1 温浴・微温浴は交感神経を活発にしてリラックスできるが、高温浴は副交感神経が刺激され、心拍数や血圧の上昇が起こりやすくなる。
- 2 水中では、浮力が働くため、身体が軽くなり、腰や膝の関節への負担も軽減される。そのため、関節の痛みがある人や運動機能が低下している人も身体を動かしやすくなる。
- 3 高齢者の場合は、脳や呼吸器系・循環器系に負担がかかりやすく、寒い脱衣所で急激に血圧が低下することもあり、脳血管障害や心臓疾患の要因となることがある。
- 4 介護従事者は、介助者の体調を観察するため、身体に負担がかかり過ぎない範囲で、入浴時間をできるだけ長めに設定する。

〔問 6〕 医療機器に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 21。

- 1 吸引器は、吸引瓶や接続チューブの内部を陽圧にして、痰などを口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部から吸い出す機器である。
- 2 ネブライザーは、呼吸障害のあるときや全身麻酔を行ったときに、強制的に気道を陽圧として人工的に呼吸を行わせる機器である。
- 3 パルスオキシメーターは、指先や耳に機器を装着して、静脈の血液中の酸素飽和度を光学的な原理により、リアルタイムで測定する機器である。
- 4 酸素濃縮器は、吸着型と膜型があり、吸着型は、酸素と空気とを分離するゼオライトという吸着剤を用い、高い濃度の酸素ガスを発生させる機器である。

余 白

〔問 1〕 次の事例を読み、後の(1)、(2)の各問に答えよ。

Aさんは85歳であり、現在、特別養護老人ホームに入所している。

Aさんは身体が大きく、身体を動かすことが好きで、様々なスポーツを行ってきた。その中で、特にサッカーが好きで、よく観戦をしていた。また、町内会では役員もこなし、他の役員や地域の人と協力しながらイベントの開催も行ってきたことから、Aさんは周囲の人からも人望が厚かった。しかし、5年前に妻を亡くしてから時折、寂しそうな表情を見せることがあった。そして、2年前に脳出血で倒れ、懸命にリハビリテーションを行ったが、左片まひの後遺症が残ったことをきっかけに、1年前に特別養護老人ホームに入所した。

入所時のAさんは、施設内で杖を使用しながら歩行し、他の利用者ともよく会話をしていた。レクリエーションや行事にも積極的に参加するなど、入所前よりも表情が明るくなっていた。しかし、半年前からは、臥床することが多く、行事に参加することも少なくなった。2週間前から、食事中によく誤嚥をするようになり、食事の半量程度しか摂取できていない。また、移動するときは、車いすを使用することが多くなり、他の利用者の方との関わりも減り、日中は居室で寝て過ごしている。さらに、Aさんは、家族や職員に対して自分の気持ちを話すことが入所時よりも少なくなっており、介助を拒否することもある。

(1) 最近のAさんの生活課題を踏まえ、短期目標を設定した。短期目標に関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 22。

- 1 町内会でイベントを開催してきた経験を踏まえ、短期目標を「行事を企画する意欲をもつ」と設定した。
- 2 脳出血後の片まひの後遺症を改善する必要があることから、短期目標を「左腕を活用できるように、日常生活の中で練習する」と設定した。
- 3 食事中の誤嚥により、食事の半量程度しか摂取していないことから、短期目標を「食事の摂取量を8割に増やす」と設定した。
- 4 移動において、車いすを使用することが多くなってきたことから、短期目標を「杖を使わずに歩行する」と設定した。

(2) 2か月後、介護過程の評価を実施した。評価に関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 23。

- 1 Aさんは、相変わらず他の人と話をしようとしませんが、施設での生活が楽しいとAさんが話したことを家族から聞いたので、目標が達成したと評価した。
- 2 介助を拒否されることもあったが、辛抱強く関わることで、Aさんの介助ができるようになったため、Aさんとの信頼関係を築くことができたと評価した。
- 3 日中居室で寝て過ごしている時間が、Aさんと同じように過ごしている他の利用者と比べて短くなったため、Aさんの生活が改善したと評価した。
- 4 複数設定した短期目標については、Aさんの状況を総合的に評価するため、まとめて評価することにした。

〔問 2〕「福祉系高等学校等の設置及び運営に係る指針」(文部科学省 厚生労働省 平成30年)の「実習に関する事項」に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 24。

- 1 介護実習Ⅰを行うのに適切な介護実習施設等の選定に当たっては、介護実習Ⅱを含めた介護実習全体で施設における実習に片寄ることのないよう、短期間であっても、訪問介護等の利用者の居宅を訪問して行うサービスや小規模多機能型居宅介護等のサービスを含む居宅サービスを介護実習施設等として確保することにより、利用者の生活の場である多様な介護現場において個別ケアを体験・学習できるよう、配慮すること。
- 2 実習の教育効果を上げるため、介護過程については、実習前の介護技術の確認や介護実習施設等に係るオリエンテーション、実習後の事例報告会の開催、実習期間中に学生が介護福祉士養成施設において学習する日の設定等を通じ、実習に必要な知識及び技術、介護過程の展開の能力等について、個々の学生の学習到達状況に応じた総合的な学習となるよう努めること。
- 3 介護実習における医療的ケアの実地研修の扱いについては、実地研修を行うことができる生徒は、基本研修を修了した生徒に限られること。実地研修で実施する医療的ケアの種類は、喀痰吸引、経管栄養、救急蘇生法である。ただし、実地研修を安全に実施するために、喀痰吸引等を必要とする者等の書面による同意、関係者による連携体制の確保等の要件を満たしている必要があること。
- 4 介護実習における医療的ケアの実地研修の扱いについては、実地研修は、基本的には介護実習又は「こころとからだのしくみ」の中で実施することとする。なお、実地研修については、例えば、登録研修機関と連携した上で、当該登録研修機関に係る実地研修施設等を活用することや、登録喀痰吸引等事業者との連携なども考えられること。

